



# さざんか

かとう学園 宗像市立河東中学校  
学校通信第22号(R5. 9. 6)

2学期も暑さに負けず、授業に部活動に頑張る河東中生の姿が見られます。明日からは、7年生:宿泊体験学習、8年生:RTM、9年生:進路講演会、全校で防災学習と学校行事が目白押しです。それぞれ、学びを活かしていきましょう。

## 新人戦に向けて～部活動・クラブチームの決意表明 Part3



### 【 女子剣道部 戸木 茜さん 】

こんにちは。新しく女子剣道部部長になりました戸木茜です。先輩方が引退され、10月には新体制で新人戦があります。そこで、私たちが決めた目標があります。それはまず、宗像区の大会で良い成績をおさめ、筑前地区大会に出場することです。次に、筑前大会でもベスト8以上という好成績をおさめることです。そのためには、日々の稽古から声を出し、手を抜かず、一本一本を気合を入れて集中して行い、チーム一丸となってやり切りたいです。応援よろしくお願いします。

### 【 男子バスケットボール部 井上 拓実さん 】

こんにちは。男子バスケットボール部部長の井上拓実です。男子バスケットボール部は、10月1日に宗像区交流試合があります。この試合は、新人戦のシード決めに関わります。男子バスケットボール部の新人戦の目標は、区大会1位、筑前大会1位、県大会出場です。だから、この試合は絶対に勝てるように、日々練習を頑張っています。負けてしまっても、この試合で経験したことや学んだことをバネに新人戦で活かしていきます。全力で頑張るので応援よろしくお願いします。



### 【 卓球部 上野 葦実さん 】

こんにちは、卓球部です。今年の卓球部の目標は、筑前大会出場です。この目標を叶えるために、日々の練習からみんなで支え合って部内の雰囲気が悪くならないように心がけて、士気を高めています。得意なことを伸ばして、苦手な所を少しでも改善していきます。本番の緊張感に負けないメンタルと本番で決めきる自信を普段の練習でつけていこうと思います。そして、ゲーム練習などで点を取った時に声をしっかり出せる環境を積極的につくりだしていきたいと思います。応援よろしくお願いします。



### 【 体操部 兼田 圭奈さん 】

こんにちは。体操部です。体操部では、11月に行われる新人戦に向けて、日々、努力を重ねています。新人戦での目標は、県大会に出場し、優勝することです。そのためには、前回の試合で負けた悔しさを忘れずに、これからの練習に励みたいと思います。また、小さなミスが勝敗を分けることもあるので、小さなミスがないように、細かいところまで意識をして練習していきたいです。目標が達成できるように、一生懸命練習に取り組むので、応援よろしくお願いします。



## 「野球は、運の要素も強いんです」 ～ 侍ジャパン前監督・栗山英樹さんの言葉 ～

半年前に開催された WBC (ワールドベースボールクラシック) で 3 大会ぶり 3 度目となる世界一に輝いた日本チーム・侍ジャパン。このチームを優勝に導いた名将・栗山英樹監督が、最近ある雑誌の対談で語ったことを紹介します。

その雑誌で栗山監督はこんな話をしていました。

「野球って運の要素も強いんです。打ちそこなった打球が間に落ちて点が入るとか。運をいかに味方につけるかというのが一つのテーマで、それには結局生き様しかないなと。周囲のために尽くして生きている人には神様や天が応援してくれる。」

と語っていました。野球に限らず、サッカーもバスケもバレーもほとんどのスポーツの勝敗やゲーム展開には運もつきものです。ラグビーなどは、ボールが楕円形なので地面にはねたボールがどちらに転ぶかわかりません。

世界一の監督になった栗山さんが運ということを持ち出すとさすがに深みを感じます。

栗山監督はこう続けます。

「不平等を覚えるのが野球の使命です。芯に当たった打球でも捕られたらアウトになりますし、逆にろくな当たりでもないボテボテの当たりでもヒットになる。これは納得のいかないことです。しかし、ここで不平等を知り、世の中の不条理や不合理を覚えるんです。

同じような努力をしても、かたやスター選手になるし、かたやベンチにも入れない。世の中でそういうものじゃないですか。世の中に出ると理不尽なことはいっぱいあって、それをがまんして次に進んでいく力を、野球を通して覚えていくことが大事だと思います。

不運だ不条理だで終わるんじゃなくて、不運にもちゃんと意味があると。そうすると、自分が前に進みやすくなる。」

確かに野球を見ていると、痛烈なあたりが野手の真正面でアウトになったり、当たり損ねのゴロが内野安打になったりすることもあります。ゲームの流れで実力以上の力が出て勝つこともあれば、流れが悪いまま負けてしまうこともあります。栗山さんは、そうした野球の合理的でない部分をそのまま受け入れ、そのこと自体も野球の面白さ楽しさだとします。さらにそういう点から世の中の縮図や人生について考え学ぼうとしています。

そして、最後に大切な一言で終わっていました。

「野球は確かに運の要素も強いんです。では、どうやって強運・良運を引き寄せるか。それは、こう考えて実行することにあります。いまの努力の仕方です。神様や天に認められるか、応援してもらえるか。周囲のために、できることはすべてやりつくさない、勝利の女神は振り向いてくれません。大谷翔平選手がまさに良い手本と言えるでしょう。」

